



いたびつ 板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和5年12月8日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

校外学習(1年生)門司港班別研修

1年生は12月4日(月)門司港レトロに校外学習(班別研修)に行ってきました。天候が心配されましたが、当日は最高の天気でした。青空の下、1年生全員元気に門司港レトロを散策しました。来年度の修学旅行にもつながる校外学習でしたが、班がバラバラになったり、行動面で注意を受けたりすることなく、成功ではないかと思えます。特に、時間に関してはきちんと守ることができ、「さすが1年生」といえる行動でした。

いろいろな観光名所を巡りながら、関門海峡ミュージアムをゴールとして楽しく散策できました。校長先生も巡回していましたが、「こんにちは」と大きな声であいさつする班が多く、安心しました。さすが板櫃中の1年生です。もうすぐ先輩になる1年生です。板櫃中の生徒は1年生、2年生、3年生すべて元気いっぱい、パワーあふれる学年です。1年生は来年は板櫃中の中堅学年として、勉強に運動に行事に頑張ってほしいと思えます。



12月4日(月)青空の下、1年生は校外学習に出発。目的地は門司港レトロ地区です。1年生は、みんな楽しみにしていたと思えます。来年度の修学旅行に繋がるよい体験になるように先生方も期待していました。

○ 8:25・・・体育館集合。遅刻者もなく、いいスタートを切ることができました。出発式を終え、バスに乗車しました。目的地までは都市高速を使って30分くらいのバス旅です。

○ 9:40・・・レトロ展望台横に到着。午前中早い時間の活動でしたので、人もあまり多くありませんでした。門司港を訪れた人もいるとは思いますが、また違った思い出を作ることができたと思えます。門司港レトロ地区は平日でしたが、観光客も多く、賑わっていました。時間通りに施設を訪問することができましたか。訪問地は事前に班で決めました。主な訪問地は、「関門海峡ミュージアム」「海事広報展示館」「旧大連航路上屋」「門司港駅」「九州鉄道記念館」「旧門司税関」「レトロ展望室」「旧大阪商船」「電気通信レトロ館」「三宜楼」「はね橋」「関門トンネル人道」などです。

○ 14:00・・・クラス写真、学年写真を撮った後の、最後の見学地の関門海峡ミュージアムでは、みんな楽しんでいました。見学後は最後の集合です。ここでも時間をきちんと守ることができ、さすが1年生という態度を見せてくれました。この様子なら、修学旅行も大丈夫です。

校外学習はそれだけで終わるのではなく、今からの生活に生かすことがとても大切です。その意味で、1年生の学校生活を楽しみにしています。

北九州ゆめみらいワーク2023(西日本総合展示場)

北九州市では、北九州地域で学び育った中高生が、早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るイベントとして「北九州ゆめみらいワーク 2023」を開催、今年で8年目になります。早い段階からの職業観の醸成と将来の地元就職につなげることを目的として、12月7日(木)、8日(金)の2日間、「仕事」と「学び」をテーマとした体験型イベントです。

このイベントは、多くの地元企業や大学等に御出展いただき、職業体験や社会人との交流などを通じて、若者の職業観の醸成や地元企業・大学等への理解促進、将来の地元就職につなげることを目指しています。主に北九州地域の企業・団体や大学・短期大学・専門学校等がブースを出展し、来場者に仕事内容を紹介するほか、工夫を凝らした仕事体験等を提供します。来場者一人一人が、仕事と学びのつながりや企業の魅力を体感できるイベントで、2日間で中学生、高校生などが来場します。

板櫃中学校の1・2年生は、目的をもって各ブースを回っていました。1・2年生ともに初めての参加でしたが、有意義な時間を過ごせたようです。ゆめみらいワークの「OSP グループ」のブースで、2年生が校長先生に「栗原校長シール」を作って、校長室にもってきてくれました。ありがとう!とてうれしかったです!(写真は校長室を訪ねてくれた倉橋さん、池下さん、永濱さんです)



